

インフォメーション

申込み・問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp

団体の活動拠点としてご利用ください！

●事務用ブースの使用者募集

使用期間：2018年9月1日(土)～2019年8月31日(土)※最長3年まで使用可能ですが、継続にあたり毎年審査があります
対象：継続的に市民活動を行い、市内に専用事務所をもたない団体(事業者を除く)
募集数：1ブース(予定)
設備等：机、椅子、ロッカー/面積：4㎡/使用料：月額7,100円
申込受付期間：2018年7月13日(金)まで※9:00～17:00(土・日を除く)
応募方法：仙台市市民協働推進課と仙台市市民活動サポートセンターにて配布の申込書に記入して、仙台市市民協働推進課へご持参ください。
郵送不可。(仙台市ホームページからもダウンロードできます。https://www.city.sendai.jp/)
申込み/問い合わせ：仙台市市民局市民協働推進課(仙台市青葉区二日町1-23アーバンネット勾当台ビル2階) TEL022-214-8002

●ロッカー・レターケースの使用者募集

使用期間：2018年9月1日(土)～2019年8月31日(土)
対象：継続的に市民活動を行っている団体(事業者を除く)
申込受付期間：2018年7月6日(金)～20日(金)9:00～21:00
(日曜・祝日は17:00まで)※7月20日(金)必着
応募方法：仙台市市民活動サポートセンターにて配布の申込書・団体紹介シート・システム情報入力シートに必要事項を記入し、団体の活動内容が分かるものを添付して仙台市市民活動サポートセンター1階窓口にご持参ください。(仙台市市民活動サポートセンターホームページからダウンロードできます)
申込み/問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター

募集数/使用料 ※ロッカー使用者は公開抽選会で決定、レターケース使用者は先着順

貸出/募集数	使用期間	使用料	対象
ロッカー(大) / 16(抽選)	2018年9月1日(土)～ 2019年8月31日(土)	1,200円/月	継続的に市民活動を行っている団体(事業者を除く)
ロッカー(中) / 28(抽選)		810円/月	
ロッカー(小) / 60(抽選)	400円/月		
レターケース / 168(先着)	無料		

マスコミに取材されるプレスリリース10箇条～伝わる取材依頼を書こう～

開催日時：2018年7月30日(月)18:30～21:00
会場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
講師：河北新報社 防災・教育室 大泉大介氏
内容：プレスリリースを受け取材をする新聞記者の視点から、効果的な広報について学ぶ講座とケーススタディを実施します。ケーススタディでは、参加者が持ち寄ったリリースを教材とし、実例を元に改善点を学びます。
対象：市民活動団体で広報を担う立場の方。※法人格の有無や法人の種類は問いません。
※お申込みの際、実際に使用した、あるいは出す予定のリリースがあれば、お寄せください。
定員：20名(先着順)
参加費：無料



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい/団体を立ち上げたい/組織運営の悩みを解決したい/他の団体や他のセクターと連携したい/自分のスキルを地域や社会に役立てたい...

今月の休館日	7月11日(水)、25日(水)
開館時間	月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日	毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ/地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分
[HP]http://www.sapo-sen.jp [Blog]http://blog.canpan.info/fukkou/ [Twitter]@sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

市民ライターや学生記者が、仙台の市民活動団体やワクワクビトを取材しています！

- ▶市民ライター http://blog.canpan.info/fukkou/category_23/1
- ▶情報ボランティア@仙台 <https://ja-jp.facebook.com/jyoho.volunteer.sendai>

- ▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。
- ▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート] サポセンホームページからアクセス
いただくか、携帯電話等で2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター
発行日 2018年7月1日
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 太田貴 菅野祥子 松村翔子 宮崎真央 鎌田みずほ 水原のぞみ
発行部数 3000部
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

ぱれっと

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2018 No.227

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



東北大学 農学部2年
おおき ゆうと
大木 雄人 さん (19)

団体同士の繋ぎ役
学び合える場をつくる

仙台には、復興支援や国際問題の解決など「社会をより良くしたい」と活動する学生団体が数多くあります。大木さんは、大学生の社会課題解決型海外インターンシップを企画するアイセック仙台委員会に所属。その傍ら、仙台で活動する学生団体同士が交流できる機会をつくっています。2018年4月、新入生歓迎のタイミングで合同新歓を開催。参加費なし、当日参加歓迎の気軽な企画には、大学の枠を超え、新入生と14の学生団体メンバー約100人が参加。交流をきっかけに、新入生の活動参加に繋がりました。「学生団体は、敷居が高いと思われがち」。課題払拭に手応えを感じています。高校時代、文化祭でクラス企画のリーダーを引き受けた際、「やるからには一番面白い企画にしよう」とクラス一丸となって奮闘。多くの人たちと一つのものを作り上げる楽しさを知りました。「面白いアイデアや強い信念を持った仲間と出会い、そこから新しい取り組みが生まれるかもしれない」と、繋がり可能性に胸を膨らませます。

取材・文 市民ライター 大林 紅子

特定非営利活動法人アイセック・ジャパン 仙台委員会

TEL 080-6945-7875
Mail yuto.oki@aiesec.jp

所属するアイセック仙台委員会は、世界126の国と地域にネットワークを持つ特定非営利活動法人アイセック・ジャパンの会員団体です。社会課題解決型の海外インターンシップの設計や運営のほか、イベントも企画。個々の組織だけではなく多くの学生団体や専門領域を巻き込めるグローバルリーダーシップを持つ人材の育成と輩出を行っています。「学生という枠から飛び出し、いろんな人と出会いたい」と言う大木さんの好奇心を刺激しています。

特集

東北の魅力ある暮らしを集めて

発信する LIVE+RALLY PARK.

東北の魅力ある暮らしを集めて発信する LIVE+RALLY PARK.

2018年3月、勾当台公園市民広場の一角にベンチが置かれ木材を基調とした平屋店舗が建つエリアが現れました。これは、仙台市文化観光局東北連携推進室(以下、東北連携推進室)と、Sendai Development Commission INC.(以下、SDC)を代表とする企業体によるプロジェクト、「LIVE+RALLY PARK.(以下、ライブラリーパーク)」。行政と民間事業者による協働事業をご紹介します。

これまでにない
観光事業をやりたい



**仙台市文化観光局
東北連携推進室**
ふくだけいすけ
福田 圭佑 さん

東北の手仕事に
出会ってほしい



**株式会社 金入
東北STANDARD
ディレクター**
おおこうちひでお
大河内 英夫 さん

人と人がつながる新しい
公共空間を提案したい



**株式会社 GUILD 代表取締役
Sendai Development Commission INC.
代表取締役 CEO**
ほんごうこういち
本郷 紘一 さん

本を通じて
東北に出会ってほしい



**移動本屋ペンギン文庫
店主**
やまだきぬよ
山田 絹代 さん

育まれる、仙台の新しい日常

店舗の中には、たくさん本。東北にゆかりのある作家、東北の暮らしや風土・文化を伝えるもの、自主制作で出版する冊子リトルプレスが並びます。選書したのは、ペンギン文庫の山田絹代さん。仙台を拠点に、「土地と土地を紡ぐ」をコンセプトに、移動本屋というスタイルで日本各地に出向きます。また、棚には岩手県鳥越地区の竹細工や、仙台市の松川だるま等の工芸品が並びます。工芸品を紹介するのは、株式会社金入で、東北のものづくりを次の世代に伝承するプロジェクト「東北STANDARD」のディレクターを務める大河内英夫さんです。そして、プロジェクトのメンバーを集めたのは、SDC 代表取締役の本郷紘一さんです。公園や歩道などの公共空間を活用したまちづくりに取り組んでいます。SDCとは別に、コーヒースタンドや美容室を経営する株式会社 GUILD の代表取締役でもある本郷さん。ライブラリーパークに、東北の食材を活かした食事を楽しめるカフェも出店しています。

ライブラリーパークでは、昼時になると、お昼を食べる家族連れや、コーヒー片手にミーティングするビジネスマンで賑わいます。屋外に点

在する植栽とベンチを組み合わせたストリートファニチャーは、SDCが仙台の大学生を巻き込み制作しました。植栽を自ら手入れする人がいたり、子どもたちが遊ぶ姿を見て玩具や絵本を寄付する人がいたり、公園に関わることが市民一人ひとりの生活の一部になりつつあります。

ライブラリーパークのコンテンツは「人」

2017年12月、東北全体の交流人口の拡大を目的として、仙台を拠点に東北各地の魅力を発信する場所を創ろうと、仙台市が連携する事業者を公募。企画を応募したSDCが採択され、協働のプロジェクトが始まりました。東北連携推進室の福田圭佑さんは、「本郷さんたちの提案には、既存の物産展や行政的な観光PRにはないものを感じました」と振り返ります。東北各地で活動している人や、その土地に根づいた取り組みを紹介し、人から人へ東北の魅力を伝えることは、事業として成果を数値化しにくいもの。仙台市としては、新たな挑戦でした。

本郷さんは「東北の魅力を発信するコンテンツは人。モノやコトの背景にある、人や思いに出会って、人から人へ共感の輪を広げたい」と話します。山田さんは、その思いに応えようと、訪れた人に本を通じ



私たち一人一人が
東北の魅力に気付き
発信していく



仙台市役所 文化観光局東北連携推進室企画推進班
〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
TEL 022-214-8496 (直通) / FAX 022-214-8456

て土地との新しい出会いを提供。その土地でしか手に入らないリトルプレスを求めて作り手一人ひとりに話を聞き、一冊一冊にレビューを添えました。一方、大河内さんは、東北の手仕事を紹介するということで「作家という“人”に触れて欲しい。手入れをしながら道具と暮らすという、“豊かな時間”を味わって欲しい」と力を込めます。

協働すること

「このプロジェクトを通して行政が達成したい目標を意識しながら、どのように自分の特色を出したらいいか悩んだこともある。何度も話し、少しずつお互いのバランスを見極めていった」と、本郷さんは対話の重要性を語ります。福田さんは「連携して物事を進めるには、お互いの得意分野と役割を認めた上で、任せることは任せるという信頼関係を築くことが大切」と話します。信頼と対話を積み重ね、協働の素地を育んでいきます。(取材・文 水原のぞみ)

学びは暮らしを豊かにする

NPO 法人楽遊ネットワーク宮城(以下、楽遊ネット)は、地域の隠れた歴史資源を掘り起こし、市民の生涯学習や地域観光の活性化を図る活動をしています。拠点は仙台市青葉区。地域の歴史に関心のある市民や外国人に向け、歴史散策を企画しています。中でも、仙台三十三観音巡り(以下、観音巡り)は、2007年に活動を始めてから2018年の4月で43回目の開催を迎えた人気企画です。毎年年代も国籍も様々な人たちが参加。江戸時代に北は北山、南は四郎丸まで仙台北を囲むように設けられた仙台三十三観音札所を訪ね歩きます。代表理事の鎌田成子さんは、活動とは別に英会話スクールを運営しています。スクールで学んだことを地域の観光活性化に生かせる場と、市民が地域の歴史を学べる場をつくろうと団体を設立。



▲スタッフとボランティア数名が観音巡りを引率します。

観音巡りの楽しみの1つは、ご朱印帖に印章や墨書を集めること。楽遊ネットが発行しているオリジナルのご朱印帖を片手に、点在する札所を3回に分けて歩きます。集った人との交流と学び合いが何よりの魅力です。

一緒に歩く人が違えば、会話からまた新たな学びが生まれる。普段の生活では出会うことのないような方たちと歩くことで、お互いの知識を深め合うことのできる機会だと感じました。

■連絡先
〒980-0021
仙台市青葉区中央2丁目7-30角川ビル6F
TEL 022-261-9869

お役立ち本 非営利団体の資金調達ハンドブック

著者:ファンドレイジング・ラボ 徳永洋子 出版:時事通信社

非営利団体の資金調達に長年携わってきた著者が、資金調達についての考え方や、さまざまな調達手段、そのポイントについて具体的に解説したノウハウ本です。非営利団体が資金調達力を高めるために知っておきたいことが網羅されており、実務に使える各種の型も盛り込まれています。資金調達の参考図書として、また、団体スタッフの研修テキストとしてもおすすめです。



お役立ち本 感動、喜び、やりがい…秋のひとときを一緒に味わおう！ 「定禅寺ストリートジャズフェスティバルin仙台」ボランティア募集

当日の会場整理、ステージの手伝い、グッズ販売、インフォメーションなどのボランティアを募集中。締め切りは8月10日。参加資格は15歳以上で、9月8日(土)・9日(日)の2日間または、どちらか1日活動できる方。
申込み・連絡先:公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会(USFボランティア係)
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-3 新産業ビル304
FAX 022-722-8461 Mail staff@j-streetjazz.com
HP <http://www.j-streetjazz.com>



地域で輝いている人を訪ねて ～仙台おもしろ発見隊・メンバー募集中～

仙台おもしろ発見隊は、2016年に仙台市生涯学習支援センターが主催した「地域情報発信サポーター養成講座」を受講した市民6人でスタートしたボランティア団体です。地域で輝いている人取材し「地域づくりの思い」を発信するフリーペーパー「地域のなかまたち」を発行しています。現在メンバー募集中です。
問い合わせ 事務局:仙台市生涯学習支援センター内(會田・安倍)
TEL 022-295-0403(月曜休館)



▲地域情報発信サポーター養成講座からスタート